

砺波市総合計画審議会 議事録

日 時：平成 28 年 8 月 30 日（火） 午後 3 時～4 時半

場 所：砺波市役所 3 F 「大ホール」

出席者（総合計画審議会委員 23 名・敬称略）

氏名	役職等	(区分) 分野
豊本 治	高岡法科大学副学長	(学) 教育 (学識経験者)
杉本 庄一	砺波市地区自治振興会協議会会長	(住民) 地域・自治
飯田 良榮	庄川町商工会会長	(産) 商工
石田 智久	複合農業経営者	(産) 農業
今村 慶展	富山県知事政策局課長【代理出席 大西主幹】	(官) 行政
大井 千津子	砺波市連合婦人会会長	(住民) 地域・女性
大島 肇一	砺波商工会議所会頭	(産) 商工
大野 祐嗣	となみ青年会議所副理事長	(住民) 地域
加藤 欣也	連合富山砺波地域協議会事務局次長	(労) 労働
金井 正信	砺波医師会会長・砺波市体育協会会長	(住民) 医療・体育
清澤 百合子	砺波市ボランティア連絡協議会会長	(住民) ボランティア
小森 兼重	砺波市民生委員児童委員協議会会長	(住民) 福祉
境 佐余子	砺波市 P T A 連絡協議会副会長	(住民) 教育
辰島 剛	砺波金融協会会長（北陸銀行砺波支店長）	(金) 金融
飛田 祥子	砺波市老人クラブ連合会副会長	(住民) 高齢者
永田 喜一	となみ野農業協同組合常務理事	(産) 農業
名取川 雅司	砺波市文化協会副会長	(住民) 文化
鍋谷 万里子	砺波市食生活改善推進協議会会長	(住民) 地域・食育
野村 泰則	砺波市社会福祉協議会会長	(住民) 福祉・ボランティア
水上 法恵	砺波市母親クラブ連合会会長	(住民) 子育て・女性
三井 和弥	砺波市男女共同参画推進員連絡会会長	(住民) 男女共同
脇本 愛美	エメポロ代表	(住民) 地域・若者

欠席者（総合計画審議会委員 6 名・敬称略）

坂井 彦就	砺波市観光協会副会長	(産) 観光
-------	------------	--------

資料等

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 市長挨拶
- (3) 諮問
- (4) 議事

① 第 2 次砺波市総合計画（案）について

ア 序論・基本構想…資料 1

イ 基本計画…資料 2

② “となみ創生” まちづくり総合戦略における数値目標の進捗状況

- (5) 今後のスケジュール
- (6) 閉会

1	開会	
2	市長あいさつ	
	夏野市長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日はお忙しいところ、砺波市総合計画審議会にご出席いただきありがとうございます。日頃よりそれぞれのお立場で市政へのご協力ありがとうございます。 ・27日に総合防災訓練を実施しましたが、朝8時半に皆さんの携帯が鳴って驚かれた方もいるかと思えます。事前に告知をしておりましたが、大変大きな訓練で、市単独ではできない細かい訓練もできました。災害の少ない砺波市ですが、各地域で自分たちの地域を守っていかなければならないと認識いただいたものと思えます。 ・砺波市は東洋経済新報社の住みよさランキングで全国3位になったものの、市民は実感していない状況にあります。一方で、人口ビジョン策定の際実施したアンケートでは9割が満足しているという結果になっています。市民の皆さんの思いを受け止め、砺波市をより良くしていかなければならないと考えています。 ・本委員会も昨年の7月に第1回を実施し、人口ビジョンや総合戦略、総合計画について、さまざまなご意見をいただいたところで、総合計画（案）はある程度固まってきたものと思えます。今回は諮問するという形にさせていただき、実質的には最後のご意見をいただく形になろうかと思えます。 ・お忙しい中ですが、ご意見いただければと思いますので、よろしく願いいたします。
3	諮問	・夏野市長から豊本会長へ諮問文を提出
4	協議・説明事項	
	会長	・資料1から資料2について事務局よりお願いします。
	事務局	(資料1 第2次砺波市総合計画（案）「序論・基本構想」について説明) (資料2 第2次砺波市総合計画（案）「基本計画」について説明)
	会長	・ただ今のご説明につきまして、ご質問、ご意見等ありますでしょうか。
	委員	・やはり人口減が一番の問題であり、経済の衰退や活力の低下、住民負担の増加につながる。砺波市は住みよさランキング3位になり、買い物の利便性や交通の利便性もあり、流入という意味では環境も良く、社会増は問題ないと思うが、自然増を目指すには子育て支援が重要であり、人口対策には長期的なビジョンが必要である。
	委員	・17ページに満足度・重要度のグラフがあり、施策タイプⅡの満足度重要度ともに高い項目については、「現状維持を図る項目」となっているが、この部分こそが砺波市の特徴となるべき項目であり、維持だけでは物足りず、これをベースにさらなる展開を進めるべきではないか。
	会長	・現状維持ではなく、良い点をもっと伸ばしていくことが必要であり、表現として「現状を踏まえて伸ばす項目、充実すべき項目」などすればどうか。
	委員	・65ページの三世代同居率について、現状値、目標値ともに22.9%となっているが、三世代同居は人口増に直結するため、行政としても補助事業を推進

	<p>し、現状維持ではなく、もっと目標値を高く設定することも必要ではないか。私の地区では、30 数件あるうち宅地内同居が5 件ほど増え、子どもを含めて15 人ほど増加している。</p>
委員	<p>・65 ページ、70 ページの定住移住に関して、約 20 年前に柳瀬地区をはじめ、住宅団地が市内各地で造成され、現在はその時の子どもが結婚して所帯を持つ年代となっている。その人達が市外へ流出しないような施策が重要である。市内には空き地が多く、危険な空き家も多くあることから、空き家を解体し、行政が補助して土地を安く提供するなど、市内に住んでもらい、流出防止するような施策が必要ではないか。</p>
会長	<p>・三世代同居率を上げた方が良いという意見について、計画で現状と目標値が同じ数値のものがあるが、これはそのままおくと下がってしまうため、施策の充実により、なんとか下げ幅を食い止めたいという認識であると思う。最近のトレンドとしては三世代同居率は下がっているのか。</p>
事務局	<p>・8 ページにあるように、1 世帯当たりの人数は減っており、9 ページの通り三世代同居率も年々低下している状況にあり、下げ留めることが目標である。</p>
豊本会長	<p>・三世代同居率は砺波市の特徴であり、食い止めるだけでなく、さらに上げていくことも考えていただきたい。</p>
委員	<p>・ここ 50 年の砺波市の公共投資は道路整備と区画整理であったと思う。最初が出町の区画整理事業で春日町周辺にショッピングセンターができて人が増え、その後は太郎丸、杉木と、大型の公共投資により人口が増え、店舗が増えてきている。一方、豊町周辺では勢いが落ちてきている印象があり、出町市街地の東側について再び公共投資を行い、循環させて揺り戻しを図っていかばどうか。</p>
委員	<p>・人口減少は砺波市全体としては緩やかであると予測されているが、市街地は増えている一方、市街地から離れた場所は減少しているなど、二面性がある。特に旧庄川町は 10 年で 1,000 人以上減少している。人口が減少して班としての機能が成り立たなくなっているなど地域コミュニティが衰退しており、二面性への対応が必要である。</p> <p>・人口減少によって、商店街の衰退や地域コミュニティの崩壊が予想されるなど、今後 5～10 年間で非常に重要な時期であると思うが、表現が抽象的な部分も多いため、誰もがわかる計画にすべきではないか。</p>
委員	<p>・「生涯学習の推進」について、学びたい人が学ぶという前提の施策が中心となっているが、例えば環境やごみ出しの方法など、社会の一員として生きていく上で成人が学ばなくてはいけないことを学ぶ機会が必要であり、記載すべきではないか。</p> <p>・6 ページの計画の推進で PDCA を実際どのように回していくのか、具体的な進め方を詳しく書いた方が良いのではないか。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 89 ページに子育て支援の充実について記載があるが、私は、未就園児に対する子育て支援ボランティアを行っており、育児放棄や虐待等が多くなっていることを危惧している。赤ちゃんは地域の宝と言われている割に、地域の人は知らん顔なことが多い。赤ちゃんができたとわかった時から、近所や地域の声かけや見守りにより子どもたちを守っていくべきである。 ・ 表現が少し物足りないので、子育て支援ボランティアに対し、強く打ち出していただくなど、行政の後押しが必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画全般において言葉はきれいだが、表現が具体性に欠ける印象があるため、もっと具体的な例を入れていけばどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三世代同居だけでなく、三世代近居も推進すべきである。同じ集落内の近居であれば、地域コミュニティも維持できるなど、同居と同じくらい効果があり、子育てや介護でも相談相手がいるなど、地域とすれば財産でもあると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砺波市では同じ敷地内及び隣接地に家を建てることについても、三世代同居支援の対象としている。今年度中にも三世代同居について、検討会を実施したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大井委員の PDCA サイクルの推進については、個別施策ごとに目標値を掲げており、毎年検証確認を行い、本審議会でも諮り、評価や改善を行っていきたいと考えている。
教育委員会 事務局長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大井委員の成人が学ばなくてはいけないことを学ぶ機会の充実については、56 ページの生涯学習において、「①地域を学ぶ機会の充実」の情報提供や「②学びを充実し生かす仕組みづくり」における学習講座の充実などで、地域の課題等について行政がサポートしていきたいと考えている。 ・ 清沢委員の地域の子育ての充実については、89 ページの「子育てと仕事の両立支援」で意識啓発だけでは弱いのではないかとということだが、「支援の充実」といった文言も入ってくるのではないかと考えており、検討したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名取川委員の具体的な表現を入れるべきというご意見については、5 ページにあるように、総合計画は基本構想、基本計画、実施計画の 3 本立てになっており、具体的な施策や表現については、実施計画や個別計画に記載していきたい。
豊本会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 続いて、資料 3 「“となみ創生” まちづくり総合戦略における数値目標の進捗状況」についてご説明願います。
事務局	(資料 3 「“となみ創生” まちづくり総合戦略における数値目標の進捗状況」について説明)
豊本会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただ今のご説明につきまして、ご質問、ご意見等ありますでしょうか。
豊本会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にないようですので、今後のスケジュールについて事務局よりご説明願います。

事務局	・今後のスケジュールについて説明
豊本会長	・以上で本日予定しておりました協議事項はすべて終了いたしました。最後に夏野市長にまとめていただきたいと思います。
夏野市長	<p>本日は貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。総合計画に関する具体性のご意見もありましたが、簡単に言うと綱の目が違うという話でありまして、個別計画や実施計画で本日いただいた意見をできるだけ反映していきたいと思います。目標値と現状値が同じものについては工夫していきたいと思います。</p> <p>人口問題には三世代同居が有効であり、三世代同居を二年間進めてまいりましたが、近居の話はたくさんあります。今回の三世代同居率は国勢調査の数字であり、事実上三世代同居していても、世帯分離等により数字には反映されていない家庭もあり、実際はもう少し高い数字ではないかと思えます。それをどこまで支援の対象とするかについては、議論しているところであり、狭義では隣接地で、同じ地区内、砺波市内、極端な話では富山県内なら良いのではないかという話も出ております。実質的に世帯を支えるものについては支援をしていきたいと検討しているところです。計画の中にも10WAVEなどで三世代同居に記載しており、さらに推進していきたいと考えております。総合計画では総花的であるとか同じことしか書いていないなどという意見が良く出ますが、今回の計画ではメリハリをつけるという意味で10WAVEを掲げ、メリハリをつけながら全体の流れを崩さないようにという形で計画を作っていくという趣旨ですので、ご理解いただければと思います。</p> <p>庄川の問題についても指摘をいただいておりますが、道の駅を核にしてまちづくりを進めようという意見もあり、支援をしていきたいと思えます。</p> <p>地区ごとに人口問題に立ち向かうということは人口ビジョンでもお示した通りですので、地域の現状と合わせた形での振興策、人口維持策を考えていかなくてはいけないと思っております。人口ビジョンでお示した通り、社会動態については若干プラスということで、これまでのまちづくりの方向性は間違っていなかったということかと思えます。一方、自然動態については想定以上に出生が少ないという状況であり、出会い、結婚だけでなく、全体の子育て支援を含めて集中的に行っていきたいと考えております。</p> <p>10WAVEの中にそういった思いは込めてあるということをご理解いただければと思います。</p> <p>今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。</p>
豊本会長	・以上で本日の審議会を終了いたします。委員の皆様には運営にご協力いただき、ありがとうございました。
5 閉会	